

豊浦町ふるさと応援寄付金について

令和2年度の「豊浦町ふるさと応援寄付金」は、1,703人の方から51,255,000円のご寄付をいただきました。お寄せいただきましたご寄付は、各基金に積み立て、豊浦町の発展のために大切にご活用させていただきます。

積み立てた基金	寄付件数	寄付金額
まちづくり整備基金	1,153件	33,693,000円
小幌駅応援基金	450件	10,302,000円
教育・文化及びスポーツ振興基金	265件	7,260,000円
合計	1,868件	51,255,000円

寄付金の主な使い道

- ・起業化雇用創出応援事業
- ・海浜公園照明設備改修事業
- ・小幌駅維持管理事業
- ・放課後子ども教室開設事業
- ・公民館図書購入事業
- ・給食センター改修工事

※1人の方から複数の寄付をいただくことがあるため人数と件数は一致しません。

お寄せいただいた応援メッセージ

ご寄付をいただいた際に豊浦町への応援メッセージをいただいておりますので一部ご紹介させていただきます。

- ・小幌駅の存続に町として取り組まれていることに、敬意を表します。これからも、この秘境駅を守るための施策の継続に期待しております。～広島県広島市の寄付者様
- ・釣り&温泉&キャンプでよく訪問させていただいてます。環境も良く、地元の方も優しく気さくな方ばかりで大好きな町です。これからも良い町づくり頑張ってください！～北海道札幌市の寄付者様
- ・また豊浦に行けるのを楽しみにしています。道の駅のウニ丼、美味しかったです！ホタテもかぼちゃもメロンも大好き、(^o^)次はピザ屋さんも行ってみたい(*^^*)～東京都文京区の寄付者様

地域おこし協力隊の活動日記



文 / 北浦 佳 隊員

豊浦いちごが最も旬な6月が過ぎました。今年度も新型コロナの影響で「いちご豚肉まつり」が中止となりとても残念でしたが、連日多くの方々豊浦いちごをお買い求めに訪れてくださり、豊浦いちごのブランド力を再認識したひと月でした。

研修2年目の今年、私たち夫婦は2人の収穫作業時間と実際の収穫量・出荷時の値段変動を意識しながら、研修先の親方宅で毎日朝4時からいちごの収穫に携わりました。

今後は、研修施設「いちご分校」にて次年度に向けた定植準備が本格化します。これまで親方宅で学んだことを夫婦2人で実践していく中で、「できない(=親方研修時に教えていただいたが理解できていない)作業」を明確にしてどうすれば効率よく作業できるようになるかを常に考えながら、先輩研修生の星夫妻のようにおいしい豊浦いちごを出荷できるよう頑張っていきたいと思っております。



▲夫婦2人で収穫・選別した豊浦いちごと一緒に協力隊の活動はフェイスブックで発信中です！

Facebook

<https://www.facebook.com/toyoura.chiikiokoshi/>